

みんなで知ろう東京湾！ 令和6年度 東京湾環境一斉調査の参加機関を募集します

東京湾環境一斉調査（東京湾の海域又は流域河川の環境一斉調査）を実施します。
水質調査や生物調査、水質改善等に関する普及啓発活動を含むイベント等の実施を通じて、
本調査へ御参加いただける横浜市内の企業や市民団体の皆様を募集します。

1 実施日（実施日・対象時期は目安であり、実施時期の前後の調査等も対象です）

- (1) 水質調査：令和6年8月7日（水）（予備日：8月21日（水））
- (2) 生物調査：令和6年7月から9月頃まで
- (3) 環境啓発活動等のイベント：令和6年7月から10月頃まで

2 実施内容

東京湾の海域又は流域河川で行われる次のいずれかの調査又は活動を対象とします。

- (1) 水質調査：溶存酸素量（DO）、化学的酸素要求量（COD）、水温、塩分、流量、透明度等
- (2) 生物調査：干潟などでの生物調査
- (3) 環境啓発活動等：水質改善等に関する普及啓発活動を含むイベントの実施



3 参加対象機関

横浜市内の企業、NPO等の市民団体、大学・研究機関、九都県市・東京湾岸・流域自治体、国の機関等

4 参加申込方法（横浜市にお住まい・所在地のある方）

令和6年6月21日（金）までに、電子メール又はFAXで参加申込書をお送りください。

【申込先】 E-mail: mk-mizu@city.yokohama.lg.jp FAX: 045-671-2809

【担当】 みどり環境局水・土壌環境課 権田、真秀、西村

5 結果の公表

本調査の結果は、東京湾環境一斉調査の成果として報告書や「東京湾環境マップ」にまとめて公表しています。

なお、東京湾環境マップは、市民情報センター（横浜市庁舎3階）で配布・配架しているほか横浜市の各区の図書館でも閲覧ができます。

○調査結果掲載ウェブサイト

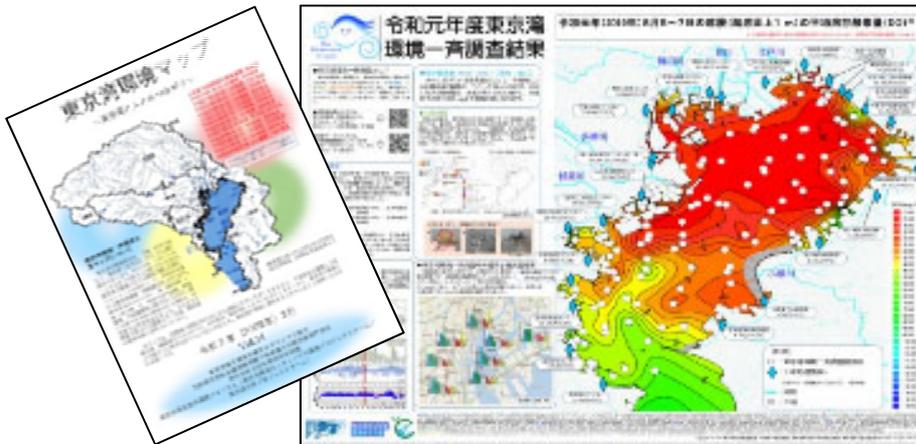
https://www.env.go.jp/water/heisa/tokyo_wqs.html

○東京湾環境マップ掲載ウェブサイト

<http://www.yzk.nilim.go.jp/kakubu/engan/kaiyou/kenkyu/tkbs-reports.html>



調査結果
掲載ウェブサイト
二次元コード



「東京湾環境マップ」イメージ



東京湾環境マップ
掲載ウェブサイト
二次元コード

東京湾環境一斉調査とは…

東京湾とその関係する陸域の水質環境の把握や、汚濁メカニズムの解明のほか、流域住民をはじめ国民の東京湾再生への関心の醸成を図ることなどを目的に、国や自治体のほか、企業・市民団体等が協働で東京湾の水質調査などを実施します。令和6年度は17回目の調査です。

横浜市も一員である「東京湾再生推進会議」「九都県市首脳会議環境問題対策委員会」「東京湾岸自治体環境保全会議」及び「東京湾再生官民連携フォーラム※」が参加者を募ります。

※：東京湾に関わりをもつ多様な主体で構成され、東京湾再生を官民で考え、共に連携・協働する組織

【調査全般のお問合せ先】

東京湾再生推進会議モニタリング分科会事務局
環境省水・大気環境局海洋環境課海域環境管理室
担当：柴崎 電話：03-5521-8319



横浜で初めて行う
国際博覧会
2027年3月19日～
9月26日開催

お問合せ先

みどり環境局水・土壌環境課長 百瀬 英雄 Tel 045-671-2803

※本件については、環境省等の国の機関及び関係自治体で同時発表しています。

令和 6 年度東京湾環境一斉調査 参加申込書

団体名
住 所
担当者名
連絡先 (TEL)
(E-mail)

1. 水質調査の実施予定

測定項目	測定方法	観測地点・海域	取材の可否	備 考 (団体の紹介等)

※測定方法については、使用する観測機器や観測手段などについてご記載ください。

※報道機関等から取材の申し込みがあった場合に、対応可能かどうか記載をお願いします。

2. 生物調査の実施予定

調査内容 (干潟・その他)	調査地点・海域	調査時期	備 考

3. 環境啓発活動等のイベント実施予定

開催場所	実施日	イベント名 (活動内容)	主催・問合せ先

※ホームページ、広報、東京湾環境マップ等の公表資料に掲載する写真を募集します。水質調査・生物調査・環境啓発活動等のイベントで撮影した写真の提出についてご協力をお願いいたします。

なお、各調査、イベントの報告様式については、後日配布いたします。

【申込先】 E-mail: mk-mizu@city.yokohama.lg.jp FAX: 045-671-2809
【担 当】 横浜市 みどり環境局水・土壌環境課 権田、真秀、西村

令和6年度東京湾環境一斉調査への参加方法

1. 水質調査

8月7日※¹に以下の項目※²の測定※³を実施し、別途指定する期限内にデータを事務局までご提出ください。
データの提出は事務局指定の様式にしたがってください。

陸域

**水温、化学的酸素要求量（COD）、
流量、溶存酸素量（DO）、透視度**
※河川では、流心（水面から全水深の20%
の位置）部で調査



海域

**水温、塩分、溶存酸素量（DO）、
化学的酸素要求量（COD）、透明度**
※原則として海面下0.5m～海底上1mまで
1m毎に鉛直方向に観測



※¹: 8月7日に実施が難しい場合は、できるだけ8月7日の前後数日に測定を実施してください。

※²: 全ての項目について測定が実施されることが望ましいですが、測定が困難な項目については除外していただいても結構です。

※³: 基本的には海・河川等の公共用水域での測定をお願いしていますが、困難な場合は、排水口での測定でも参加可能です。

2. 生物調査

概ね7月～9月に実施した水生生物調査※⁴の結果を事務局までご報告ください。
生物調査については事前登録なしでの結果報告も受け付けます。



※⁴: 調査の概要は別紙3をご参照ください。

3. イベント等

海や河川の環境改善に向けたイベント等を企画・実施※⁵する場合に、事務局までその概要をご報告ください。規模、対象等の指定はありません。
後日、イベント実施の報告様式を電子メールで配布いたします。

※⁵: 実施時期については、概ね7月～10月としてください。

1. と3. については、事前登録が必須です。必要事項を記入し、**6月21日(金)までに**、各自治体の担当者にご送付ください。2. については事前登録も受け付けますが、事前登録なしでもご参加いただけます。

生物調査の概要

干潟調査(企業・団体向け)

東京湾には、三番瀬、多摩川河口干潟、野島海岸など、生物のゆりかごとなる干潟があります。

今年度は、市民の方々にも親しみやすい干潟に生息する生物の調査を行います。調査を実施していただける企業や団体の方々の参加を募集します。

調査時期: 7月～9月頃

調査場所: 東京湾内の干潟

※ 「東京湾の環境をよくするために行動する会」が窓口となり生物種の特定などを支援いたします。

調査項目: 生息生物の種名※

※ 調査支援として、下記のカニ・ヤドカリ調査と連携し、簡易版のカニ調査票を準備予定です。

生物調査(企業・団体向け)

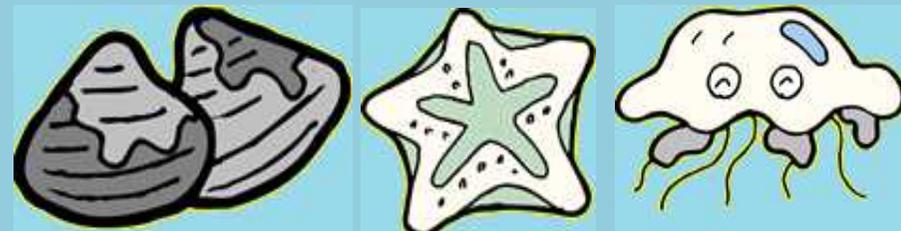
東京湾及び流域河川での生物調査を実施します。

東京湾の環境に関心がある企業や団体の方々の参加を募集します。

調査時期: 7月～9月頃

調査場所: 東京湾、流域河川(水系)

調査項目: 任意



事前登録も受け付けていますが、事前登録なしでも調査実施後の成果の報告を受け付けます。(報告様式は別途ご案内します。)

マハゼの棲み処調査、江戸前アサリ「わくわく」調査 他

個人の皆様へ
こんな調査もあります！

東京湾再生官民連携フォーラムでは、再生推進会議の一斉調査に連携して、マハゼやアサリの調査およびカニ・ヤドカリ調査を実施します。こちらの調査結果も、東京湾環境一斉調査の結果としてとりまとめています。個別の調査への参加方法についてはWebページをご参照ください。

マハゼの棲み処調査(江戸前ハゼ復活プロジェクト) <https://mahaze.suisan-shinkou.or.jp/>

江戸前アサリ「わくわく」調査 <http://www.ysk.nilim.go.jp/kakubu/engan/kaiyou/asari>

なお、千葉県内で「わくわく」調査をする場合には、特別採捕許可申請が必要です。フォーラムで一括して申請しますので、事前のご登録をお願いいたします。

東京湾生物生息確認アンケート調査(カニ・ヤドカリ詳細調査) ※本調査に参加希望される場合には、事務局(keita@meic.jp)あてご相談ください



マハゼ



アサリ

東京湾環境一斉調査への参加についてのQ&A

Q 1. 事業所等の排水口を水質調査の観測点にしてもよいですか？

A 1 貴社が通常行っている排水口での測定でも参加可能です。

基本的には、近くの海や河川等の測定をお願いしていますが、この一斉調査の取組では、できる限り多くの企業やNPOの皆様の参加を求めています。是非ともご参加ください。

Q 2. 水質調査の測定日、測定項目をもう少し具体的に教えてください。

A 2 現場での測定作業は、基準日の8月7日(水)(延期となった場合は、8月21日(水))に実施していただきたいと考えています。ただし、ご都合により基準日に実施できない場合は基準日の含まれる前後1週間に行っていただき、測定データを可能な限り早く提出いただきたいと考えています。

測定項目は、陸域の河川等では、緯度経度、水温、流量、溶存酸素量(DO)、化学的酸素要求量(COD)、透視度、海域では、緯度経度、水温、塩分、溶存酸素量(DO)、化学的酸素要求量(COD)、透明度のそれぞれ5項目としています。全ての項目について測定が実施されることが望ましいですが、測定が困難な項目については除いていただいて結構です。

排水口での測定は、通常測定して頂いている汚濁負荷量の測定項目などで結構です。

Q 3. 測定方法はパックテストなどの簡易測定法でもよいですか？

A 3 水質汚濁の解析や研究のためのデータはJIS法等による測定が望ましいと考えています。

従って、企業の皆様の参加の場合は可能な限りJIS法等の公定された測定方法によりお願いします。しかし、できる限り多くの企業やNPOの皆様にご参加いただくことも目的としておりますので、パックテストなどの簡易測定法による参加も可能です。是非ともご参加ください。

Q 4. 透明度調査はどのように行えばよいでしょうか？

A 4 透明度は、透明度板(セッキー円盤)と呼ばれる直径30cmの白色円盤を水中に沈め、上から見える限界の深さを調べるものです。透明度の調査には、自作した道具を用いていただいても構いません。また、詳しい調査方法は海洋観測ガイドライン(日本海洋学会)に記載されています。

(<https://kaiyo-gakkai.jp/jos/guide/download>、Vol.2Chap.5 透明度) なお、調査に際しては、くれぐれも事故のないようご注意ください。

Q 5. 観測地点の緯度経度の調べ方がわからないのですが。

A 5 スマートフォンの各種地図アプリや、海上保安庁の運営する「海しる」^{※1}や国土地理院の運用する「電子国土 WEB」^{※2} で調べることが出来ます。

※1 海洋状況表示システム（通称：海しる）

平成 31 年 4 月 17 日（水）より“海の今を知るために”さまざまな海洋情報を集約し、地図上で重ね合わせ表示できるようにした情報サービスです。

(<https://www.msil.go.jp/msil/htm/topwindow.html>)

※2 電子国土 WEB

Web ブラウザで国土地理院の地図や空中写真を見ることができます。世界地図から建物ひとつひとつが判別できる詳しい地図まで、様々な縮尺の地図を見ることができます。

(<http://maps.gsi.go.jp/>)

Q 6. 東京湾環境一斉調査の成果はどのように公表されるのでしょうか？

A 6 東京湾環境一斉調査の成果は、報告書や東京湾環境マップにまとめられる予定です。参考までに昨年度までの報告書については、東京湾環境一斉調査の HP に掲載されております。

(https://www.env.go.jp/water/heisa/tokyo_wqs.html)

東京湾環境マップについては、国土技術政策総合研究所 沿岸海洋・防災研究部の HP に掲載されております。

(<http://www.ysk.nilim.go.jp/kakubu/engan/kaiyou/kenkyu/tkbs-reports.html>)

また、各調査項目の調査結果コンター図は海洋状況表示システム（海しる）でも閲覧することが可能です。

(<https://www.msil.go.jp/>)

なお、東京湾環境マップや、東京湾再生推進会議のホームページ等の公表資料に掲載するため、調査やイベントの写真を募集しますので、皆様からのご提供お待ちしております。

Q 7. 東京湾一斉調査のデータはどこで入手できますか？

A 7 ご提出頂いた調査結果はデータベース化し、どなたでもご自由に活用できるように HP 上で公開する予定です。

昨年度までの調査結果は東京湾環境情報センターの HP からダウンロード出来ます。

(<https://www.tbeic.go.jp/index.asp>、「環境データを入手したい」よりダウンロード)

Q 8. 参加申込みはどのようにすればよいですか？

A 8 参加をご希望される方は、参加申込書の 1、2、3のうち実施する調査の欄に調査内容等をご記入のうえ、6月21日（金）までに、お住まいの各自治体参加申込み先まで、メールまたは FAX でご送付ください。なお、生物調査については申込書による事前の登録を行っていない場合でも、事後に所定の様式で調査結果をご報告いただくことでご参加いただくことが可能です。